



特定非営利活動法人 日本胸腺研究会
Japanese Association for Research on the Thymus

第44回 日本胸腺研究会

プログラム・抄録集

日時 2025年2月8日(土)
会場 国立病院機構九州がんセンター 2階講堂
会長 瀬戸 貴司(国立病院機構九州がんセンター 呼吸器腫瘍科)

温故知新

主催事務局 国立病院機構九州がんセンター 呼吸器腫瘍科
〒811-1395 福岡市南区野多目3丁目1番1号
TEL 092-541-3231(代) E-mail kyosen44@gmail.com

第 44 回
日本胸腺研究会
プログラム集・抄録集

会期：2025年2月8日（土）

会場：国立病院機構九州がんセンター 講堂

会長：瀬戸 貴司

（国立病院機構九州がんセンター 呼吸器腫瘍科）

主催事務局 国立病院機構九州がんセンター 呼吸器腫瘍科

〒811-1395 福岡市南区野多目 3-1-1

Tel 092-541-3231（代）

E-mail: kyosen44@gmail.com

会場および交通案内

【会場】 国立病院機構九州がんセンター 講堂
〒811-1395 福岡市南区野多目 3-1-1



【博多駅からのアクセス】

- 西鉄バス 博多駅前 A 乗り場にて 48 番・48-2 番 「福翔・野多目」 行き乗車、「九州がんセンター」にて降車（約 35 分）

【天神からのアクセス】

- 西鉄バス 天神大丸前 4C 乗り場または天神北 9 番乗り場にて 61 番「九州がんセンター」行き乗車、「九州がんセンター」にて降車（約 40 分）
- 西鉄電車（大牟田線） 西鉄福岡駅にて特急・急行・普通電車に乗車，西鉄大橋駅にて降車（約 10 分） 西鉄大橋駅 1 番乗り場にて 48 番 「福翔・野多目」 行き乗車，「九州がんセンター」にて降車（約 15 分）

【福岡空港からのアクセス】

- 福岡市営地下鉄 福岡空港駅より姪浜・唐津方面に乗車，博多駅（約 5 分）もしくは天神（約 11 分）で降車 博多駅・天神からのアクセスは上記参照

ご挨拶

第44回 日本胸腺研究会の開催にあたって

会長 瀬戸 貴司



この度、第44回日本胸腺研究会を国立病院機構九州がんセンターにて開催させていただき運びとなりました。一介の腫瘍内科医である私に伝統のある本研究会の会長を務める貴重な機会を頂きましたことを大変光栄に存じます。

本研究会の他の学会と大きく異なる点は、胸腺研究に携わる、基礎医学研究者、病理医、放射線読影医、放射線腫瘍医、神経内科医、呼吸器内科医、腫瘍内科医そして胸部外科医が分野を越えて一堂に会する集学的研究会であることです。参加者同士が、ひざを突き合わせて忌憚ない意見を交わしあうのが、特徴と認識しています。

私は、熊本大学第一内科（神経・呼吸器・消化器内科、関連病院で循環器内科）での研修医時代に、周術期、重症筋無力症合併胸腺腫を経験しました。初めて外科医と連携して治療した経験でもあり、胸腺疾患が複雑で難しいと認識した最初の症例でした。私が初めて胸腺を直視したのは、亡き一瀬幸人医師の執刀による胸腺腫の拡大胸腺摘出術の前立をした時です。胸骨正中切開で現れた胸腺に骨蠟を落とし、一瀬医師に叱られたことと、その時見た胸腺の不思議な形状が今でも忘れられません。その後、腫瘍内科医として、進行期胸腺腫・胸腺癌の薬物治療に長く携わってまいりました。胸腺腫の臨床においては、ステロイドと薬物療法の有効性や、減量手術の有用性について、常に悩んでいます。胸腺癌では肺癌の二次治療で行うナラティブな治療に準じた方が、奏効も奏効期間も長いような気がしたので、West Japan Oncology Groupにてカルボプラチン＋パクリタキセルの臨床第Ⅱ相試験を行い、その治療はガイドラインに引用される試験になりました。また、胸腺癌の遺伝子変異について、サンガーPCR法を用いたダイレクトシーケンスで解析した結果、c-KITの遺伝子変異があることがわかり、その薬物療法の効果を含め、世界胸腺研究会（ワシントン）で発表しました。系統だった研究歴があるわけではありませんが、臨床経験を通して、胸腺腫瘍を奥の深い、不思議な疾患だと感じております。

今回は九州の癌治療の拠点であります九州がんセンターの講堂にお越しただいて、胸腺疾患について議論を交わせたらと思っております。また、胸腺疾患の温故知新と称した治療・診断の変遷に関する講義も設ける予定です。

多くの皆様と福岡の地でお会いできますことを楽しみにしております。

参加者へのご案内

【会 期】

2025年2月8日(土) 8時30分～18時5分

【参加費】

3,000円

参加登録時に参加証(兼領収書)をお渡しします。お名前、ご所属を記入の上、会場では必ず着用下さい。参加証を着用されない方の入場は固くお断りいたします。なお、参加証および領収書の再発行は致しませんのでご了承下さい。

【抄録集】

発表者および会員の方は、事前に送付分をご持参下さい。

当日抄録が必要な方は、受付にて販売いたします(1,000円)。

【発表時間】

1. 講演発表時間について

発表時間、討論時間はセッションによって異なります(日程表を参照)。

2. 発表について

- 発表の30分前までに発表データをUSBフラッシュメモリーにてご持参いただき、PC受付でのご確認をお願いいたします。
- 用意しているPCのOSはWindows10、PowerPoint 2021(以前のバージョンの使用も可能)です。画面サイズFull HD(1920×1080)、画面比率は16:9、4:3の両者で対応できます。フォントはWindows10、11に標準搭載されているものをご使用ください。
- 動画の使用は可能です。動画データは映画&テレビ、およびWindows Media Player 11の初期状態に含まれるコーデックで再生できる動画ファイルをお持ちください(動画ファイル形式はMP4を推奨します)。
- Macの場合はご自身のPCをお持ち下さい。電源アダプターも必ずご持参下さい。プロジェクターとの接続はHDMI端子です。変換アダプターが必要な際はご持ち下さい。
- スクリーンセーバー、省電力設定、ならびにパスワードはあらかじめ解除してください。

【当日の連絡先について】

何かございましたら下記までご連絡ください。

Tel 092-541-3231 九州がんセンター(代)

呼吸器腫瘍科 (島松・大島)

特定非営利活動法人 日本胸腺研究会

第 16 回通常総会のご案内

日 時：2025 年 2 月 8 日（土）13 時 35 分～13 時 50 分
会 場：国立病院機構九州がんセンター 講堂
福岡市南区野多目 3-1-1

審議事項

- 1) 議事録署名人の選任（2名）
- 2) 2024 年度事業報告について
- 3) 2024 年度収支決算および監査報告について
- 4) 2025 年度事業計画について
- 5) 2025 年度収支予算について
- 6) 役員を選任について（代表理事，理事，監事）
- 7) その他

特定非営利活動法人 日本胸腺研究会
代表理事 奥村明之進，河本 宏

日 程 表

時間	内容	座長・演者
8:00～	受付開始	
8:30～8:35	開会の辞	
8:35～9:10 (発表4分+質疑2分)	【セッション1】 症例1・外科ロボット	座長：吉野 一郎
9:10～9:45 (発表4分+質疑2分)	【セッション2】 症例2・合併症1	座長：奥村 明之進
9:45～10:35 (発表6分+質疑2分)	【セッション3】 臨床研究1・外科	座長：新谷 康
10:35～11:00 (発表20分+質疑5分)	【会長企画1】 胸腺外科の温故知新	座長：井上 匡美 演者：中島 淳
11:00～11:50 (発表6分+質疑2分)	【セッション4】 基礎研究	座長：河本 宏
11:50～12:15 (発表4分+質疑2分)	【セッション5】 症例3・薬物療法	座長：大熊 裕介
12:25～13:25	【ランチョンセミナー】 共催：エーザイ株式会社	座長：滝沢 宏光 演者：大熊 裕介
13:35～13:50	【総会】	
13:50～14:35 (発表4分+質疑2分)	【セッション6】 症例4・外科	座長：舟木 壮一郎
14:35～15:15 (発表4分+質疑2分)	【セッション7】 症例5・合併症2	座長：松井 尚子
15:25～15:50 (発表20分+質疑5分)	【会長企画2】 内科的治療（胸腺随伴症候群）の温故知新	座長：近藤 和也 演者：松井 尚子
15:50～16:35 (発表6分+質疑2分)	【セッション8】 臨床研究2	座長：滝沢 宏光
16:35～16:50	【ITMIG 報告】	座長：大江 裕一郎 演者：奥村 明之進
16:50～17:15 (発表20分+質疑5分)	【会長企画3】 画像診断の温故知新	座長：藤本 公則 演者：原 眞咲
17:15～18:00 (発表4分+質疑2分)	【セッション9】 症例6・希少疾患	座長：奥田 勝裕
18:00～18:05	【閉会の辞】	

プログラム

8:30～8:35 【開会の辞】

森田 勝 (国立病院機構九州がんセンター 院長)
会 長 瀬戸 貴司 (国立病院機構九州がんセンター 呼吸器腫瘍科)

8:35～9:10 【セッション1】 症例1・外科ロボット

座 長 吉野 一郎 (国際医療福祉大学 成田病院 院長)

- 1. 胸腺腫胸膜播種再発例に対するロボット支援下での肉眼的完全切除**
中村 彰太
名古屋大学 呼吸器外科
- 2. 胸腺下極付近の巨大腫瘍に対するロボット支援下剣状突起アプローチ胸腺摘出術：RST-4 の試み**
下村 雅律
京都府立医科大学大学院医学研究科 呼吸器外科学
- 3. 前縦隔に発生した気管支原性嚢胞に対して単孔式ロボット手術を行った1例**
道免 寛充
NTT 東日本札幌病院 呼吸器外科
- 4. Micronodular thymic carcinoma with lymphoid hyperplasia の1切除例**
小林 潤一
大崎市民病院 呼吸器外科
- 5. 乳癌術前 CT で偶発的に発見されたリンパ性間質を伴う小結節性胸腺腫の1例**
谷口 哲郎
小牧市民病院 呼吸器外科

9:10～9:45 【セッション2】 症例2・合併症1

座長 奥村 明之進（国立病院機構大阪刀根山医療センター 院長）

1. ICG 蛍光法が有用であった前縦隔発生副甲状腺腺腫の一例

片山 達也

県立広島病院 呼吸器外科

2. RS3PE 症候群，橋本病を合併した胸腺癌の1例

牛久保 陸生

独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター 呼吸器外科

3. 胸腺腫に合併した再生不良性貧血の一例

田中 智大

久留米大学病院 呼吸器・神経・膠原病内科

4. 胸腺腫摘出後良好な経過が得られた胸腺腫合併赤芽球癆の1例

鈴木 恵理子

聖隷三方原病院 呼吸器センター外科

5. 胸腺全摘によって改善を認めた胸腺腫合併自己免疫性肺胞蛋白症の1切除例

成澤 英司

群馬大学医学部附属病院 外科診療センター 呼吸器外科

9:45～10:35 【セッション3】 臨床研究1・外科

座長 新谷 康（大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器外科学 教授）

1. 術前針生検を行なった胸腺上皮性腫瘍の検討

石原 駿太

京都第一赤十字病院 呼吸器外科

2. 早期胸腺癌に対する術式選択の検討

林 龍也

岡山大学病院 呼吸器外科

3. 当科における胸腺癌手術症例の検討

藤永 一弥

安城更生病院 呼吸器外科

4. 単孔用ロボットによる剣状突起下胸腺摘除術の初期成績

伊藤 大介

三重大学 呼吸器外科

5. 剣状突起下ロボット支援下胸腺摘出術における助手の役割

法華 大助

神戸大学医学部附属病院 呼吸器外科

6. ロボット支援剣状突起下アプローチの教育

森 毅

熊本赤十字病院 呼吸器外科

10:35～11:00 【会長企画 1】

座 長 井上 匡美 （京都府立医科大学外科学講座 呼吸器外科学 教授）

胸腺外科の温故知新 ～胸腺上皮性腫瘍に対する外科治療の歴史と進歩～

中島 淳 （日本赤十字社医療センター 院長）

11:00～11:50 【セッション 4】 基礎研究

座 長 河本 宏 （京都大学医生物学研究所 再生免疫学分野 教授）

**1. 当院における胸腺上皮性腫瘍の遺伝子異常の解析：潜在的な治療標的を調べる
探索的研究**

松尾 緑

長崎大学病院 臨床研究センター，呼吸器内科

2. 難治性重症筋無力症患者における臨床像ならびに B 細胞の検討

松井 尚子

徳島大学大学院医歯薬学研究部 臨床神経科学

3. 胸腺腫における adipophilin の発現の検討

谷口 洋平

関西医科大学 呼吸器外科

4. 胸腺癌手術症例104例における腫瘍浸潤リンパ球（TIL）・三次リンパ組織様構造（TLS）およびGlasgow Prognostic Score（GPS）と術後予後に関する検討

土生 智大

岡山大学病院 呼吸器外科

5. 当科での胸腺癌に対する CGP 検査の検討

渡部 晶之

福島県立医科大学 呼吸器外科

6. 胸腺上皮性腫瘍における FAP の病理学的発現状況

大村 彰勲

大阪大学 呼吸器外科

11:50～12:15 【セッション 5】 症例 3・薬物療法

座 長 大熊 裕介（国立がん研究センター中央病院 呼吸器内科）

1. MSI-high で Pembrolizumab が著効した胸腺癌の 1 例

中富 克己

国立病院機構嬉野医療センター 呼吸器内科

2. c-kit 変異陽性胸腺癌に対して、4 次治療としてイマチニブが奏功した症例

小齊 啓祐

国立病院機構九州がんセンター 呼吸器腫瘍科

3. レンバチニブを投与した高齢の胸腺癌患者 2 例

山本 堯

大分大学医学部附属病院 呼吸器・感染症内科

4. 胸腺上皮性腫瘍を対象にした臨床研究は難しい!?

福田 実

日本赤十字社長崎原爆諫早病院

12:25～13:25 【ランチョンセミナー】

座長 滝沢 宏光 (徳島大学大学院医歯薬学研究部
胸部・内分泌・腫瘍外科学 教授)

「胸腺癌薬物治療を再考する～レンバチニブの使用経験から導かれる
長期治療継続を目指した治療戦略～」

大熊 裕介 (国立がん研究センター中央病院 呼吸器内科)

共催 エーザイ株式会社

13:35～13:50 【総会】 総会

13:50～14:35 【セッション6】 症例4・外科

座長 舟木 壮一郎 (兵庫医科大学 呼吸器外科学 教授)

1. 頸胸部異所性腺腫に対して胸腔鏡補助下に完全切除した1例
大湯 岳
市立函館病院 呼吸器外科
2. 胸腺癌と肺癌の同時重複癌に対し一期的手術を施行した2例
原澤 徹
獨協医科大学埼玉医療センター 呼吸器外科
3. 胸腺腫合併肺癌に対して胸骨正中切開で右S3区域切除を施行した1例
高橋 有毅
札幌医科大学 呼吸器外科
4. 両側肺癌術後に発生・緩徐増大し胸腺腫との鑑別を要した胸腺癌の1切除例
丸 夏未
関西医科大学附属病院 呼吸器外科

5. **術後頸部リンパ節郭清と放射線照射を追加した胸腺非定型カルチノイドの1例**
加地 政秀
淀川キリスト教病院 呼吸器外科
6. **椎骨転移を有する胸腺腫 typeB3 に対して椎骨全摘を含む集学的治療により長期生存を得ている1例**
齋藤 大輔
金沢大学 呼吸器外科
7. **体細胞型腫瘍成分に転化を生じた縦隔悪性胚細胞性腫瘍の1例**
長谷川 雄大
金沢大学 呼吸器外科

14:35～15:15 【セッション7】 症例5・合併症2

座長 松井 尚子（徳島大学大学院医歯薬学研究部
臨床神経科学 准教授）

1. **重症筋無力症を合併した Micronodular Thymoma with Lymphoid Stroma の一例**
今井 諒
長崎大学病院 腫瘍外科
2. **術前気管切開された胸腺腫合併重症筋無力症例に対するロボット支援下拡大胸腺腫胸腺摘除術の2例術**
白橋 幸洋
岐阜大学医学部附属医病院 呼吸器センター 呼吸器外科
3. **ラブリズマブ導入後に手術を施行した重症筋無力症合併胸腺腫の3例**
本間 直健
国立病院機構北海道医療センター 呼吸器外科
4. **浸潤性胸腺腫に対して、拡大胸腺摘出術+上大静脈合併切除再建術後に重症筋無力症を発症した1例**
中西 芳之
九州大学病院 呼吸器外科

5. 味覚障害を呈した重症筋無力症合併胸腺腫の1切除例

日野 春秋

関西医科大学附属病院 呼吸器外科

6. 多発性筋炎に起因する呼吸不全を呈した胸腺腫の一例

松永 晴貴

高邦会高木病院 呼吸器外科

15:25~15:50 【会長企画2】

座長 近藤 和也 (松風会江藤病院 院長)

内科的治療(胸腺随伴症候群)の温故知新~ 広がるMG治療の選択肢 ~

松井 尚子 (徳島大学大学院医歯薬学研究部 臨床神経科学 准教授)

15:50~16:35 【セッション8】 臨床研究2

座長 滝沢 宏光 (徳島大学大学院医歯薬学研究部

胸部・内分泌・腫瘍外科学 教授)

1. 当院の縦隔悪性胚細胞性腫瘍症例の検討

宮崎 拓郎

長崎大学大学院 腫瘍外科

2. 術前CTで前縦隔に多発病変を認めた症例の検討

藤本 啓介

徳島大学病院 呼吸器外科

3. 胸腺上皮性腫瘍の組織型を予測するCT特徴に基づく決定木モデルの作成

角 明子

久留米大学医学部 放射線医学講座

4. 胸腺上皮性腫瘍における腫瘍径の臨床的重要性の検討

橋之口 朝仁

九州大学大学院 消化器・総合外科

5. 肺癌登録合同委員会第8次事業「胸腺上皮性腫瘍の前方視的データベース研究」の進捗状況

新谷 康

肺癌登録合同委員会第8次事業ワーキンググループ

16:35～16:50 【ITMIG 報告】

座 長 大江 裕一郎 (国立がん研究センター中央病院 副院長)

演 者 奥村 明之進 (国立病院機構大阪刀根山医療センター 院長)

16:50～17:15 【会長企画3】

座 長 藤本 公則 (久留米大学医学部放射線医学講座 教授)

画像診断の 温故知新

～ Radiological-Pathological correlation 41年の経験より ～

原 眞咲 (愛知診断治療技術振興財団

名古屋城北放射線科クリニック 副院長)

17:15～18:00 【セッション9】 症例6・希少疾患

座 長 奥田 勝裕 (名古屋市立大学 呼吸器外科 教授)

1. Thymic hyperplasia with lymphoepithelial sialadenitis-like features と診断された一例

石角 まひろ

京都桂病院 呼吸器外科

2. Micronodular thymoma with lymphoid stroma の一切除例

太田 和貴

大分大学医学部 呼吸器・乳腺外科学講座

3. 胸腺腫との鑑別を要した Castleman 病の1切除例

村田 祥武

倉敷中央病院 呼吸器外科

4. 胸腺腫が疑われた病変に対して胸腺左葉摘出術を施行し、Rosai-Dorfman 病と診断された一例

岩澤 光哲

倉敷中央病院呼吸器外科

5. 前縦隔に発生した粘液型脂肪肉腫の一切除例

高坂 貴行

高崎総合医療センター 呼吸器外科

6. 前縦隔脂肪肉腫の 1 切除例

服部 志歩

関西医科大学附属病院 卒後臨床研修センター

7. 術前に胸水の減少を認めた胸腺腫の 1 例

山口 雅利

埼玉医科大学総合医療センター 呼吸器外科

18:00～18:05 【閉会の辞】

会 長 瀬戸 貴司（国立病院機構九州がんセンター 呼吸器腫瘍科）

次期会長 松井 尚子（徳島大学大学院医歯薬学研究部 臨床神経科学 准教授）